



四万十町

町内「ふら〜り」散策
私が知らなかった私の町

替坂本

かえ
ざか
もと

窪

川の中心部から国道56号を須崎方面へ向かうと山株と記された三叉路がある。そこを右に曲がった辺りからが替坂本の集落の中心である。国道から少し入っただけなのに騒音は感じない。家屋はちようどよい距離で点在しており、空を見上げると周囲にさえぎるものがなく、とても日当たりがよい。

地区には約20世帯、70人弱の人が住んでいる。半数以上が横山姓だという。兼業農家が大半で、以前は稲作が中心であったが現在はしょうがと大豆の栽培が中心になっている。

仁井田川沿いに地区の集会所があり、建物の裏手には河内神社が併設されている。神社は元々仁井田川のほとりにあったのが、山の上に移築され、さらに引越して現在の場所に落ちつくそうだ。

集会所では毎週日曜日にサロンが開かれ、地域のお年寄りを中心に毎回10人ほど集まり、お茶を飲みながら情報交換をしている。集会所から地区のほぼ全域が見渡せるくら



集会所奥に祀られている河内神社

いごぢんまりとした集落で、地域の人は仲がよく、草刈りや神祭も地区総出で行うそうだ。

山の上には「龍石神社」という風の神様が奉られている。地域を災害から守ってくれろと伝えられており、そのおかげか不思議とこの地域には昔から大きな災害が起らないとのことである。高知大学の調査でも地盤が硬く地震にも強いと言われている。

この地盤の硬さは、現在建設が進んでいる高速道路の工事にも少なからず影響を与えたようだ。

窪川の中心部にも近く、鉄道の影野駅や六反地駅も近い。さらに高速道路が開通すれば、影野インターチェンジまでも5分ほどと、交通の便が大変よい。「何も

ないが」とりえやき」と地区の人は言うが、その笑顔が住みやすさと地域への愛着を物語っていた。



河内神社入り口

町のうごき	(6月30日)		前月比	出生 死亡 転入 転出				適正值(mg/l)	7月13日				
	男	女		男	女	男	女		リン酸	硝酸			
	計	9,049		10,133	2	5	14		12	11	11	18	≤ 5.0
世帯数	19,182	8,764	-15	-14	-29	7	26	22	32	≤ 5.0	≤ 1.0	0.294	1.20
										化学的酸素消費量	≤ 10.0	測定値以下	

調査：大正（吾川）
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)